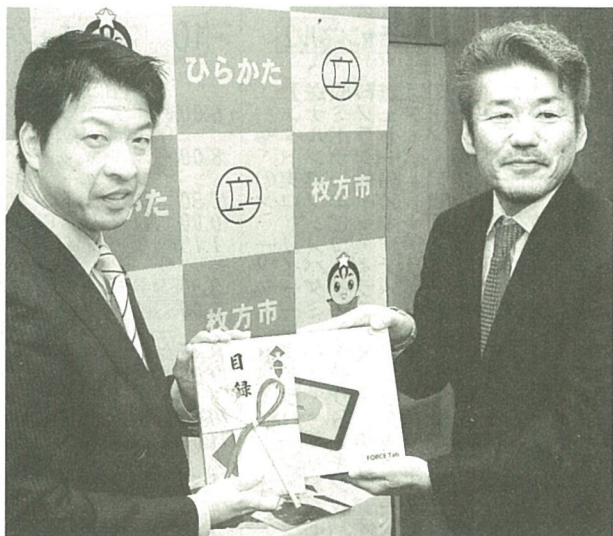


# 子ども食堂に学習端末



吉田社長（右）からタブレット端末の  
目録を受け取る伏見市長（枚方市で）

枚方市は、教育システム開発会社「イー・ラーニング研究所」（吹田市）から学習用タブレット端末120台の寄贈を受けた。市内の各地域で夕食を無償提供する「子ども食堂」11か所などにタブレット端末を配って、児童らの学習支援に役立ててもらう。

タブレット（1台約5万円）により、同社が手がけ

## 吹田の会社 120台寄贈

た学習アプリを使えるほか、ネットや動画も楽しめる。同社は学校施設などにタブレット端末を寄贈する活動を続けている。

11か所の子ども食堂はNPO団体などが運営し、家庭の事情で食事をとる機会の少ない子どもたちが利用している。市は今月から運営費用などを支援しており、タブレットを活用して幅広く学ぶ機会をつくる。

同社の吉田智雄社長（53）が市役所を訪ねて伏見隆市長に目録を贈呈した。伏見市長は「子どもたち

の学習支援に役立てたい」とし、吉田社長は「いつでも使える端末で、楽しく学んでほしい」と話していた。

## 枚方市、タブレット配備へ